

公益財団法人 全国商業高等学校協会主催・文部科学省後援

第59回 ビジネス文書実務検定試験 (29. 11. 26)

第1級

ビジネス文書部門 筆記問題

(制限時間15分)

試験委員の指示があるまで、下の事項を読みなさい。

[注 意 事 項]

1. 試験委員の指示があるまで、問題用紙と解答用紙に手を触れてはいけません。
2. 問題は1から8までで、3ページに渡って印刷されています。
3. 試験委員の指示に従って、問題用紙と解答用紙に「試験場校名」と「受験番号」を記入しなさい。
4. 解答はすべて解答用紙に記入しなさい。
5. 試験は「始め」の合図で開始し、「止め」の合図があったら解答の記入を中止し、ただちに問題用紙を閉じなさい。
6. 問題が不鮮明である場合には、挙手をして試験委員の指示に従いなさい。なお、問題についての質問には一切応じません。
7. 問題用紙・解答用紙の回収は、試験委員の指示に従いなさい。

試験場校名	受験番号

4 次の〈A群〉の各説明文に対して、最も適切な用語を〈B群〉の中から選び、記号で答えなさい。

〈A群〉

- ① スライドを表示するときやポイントとなる場面で短く鳴らす音響のこと。
- ② プレゼンテーションの実施前に行う、事前検討のこと。
- ③ 論文や講演などでの、導入部分のこと。
- ④ 文書中に盛り込まなくてはならない基本的な内容を表す用語のこと。
- ⑤ プレゼンテーションでは、説明や提示などを受ける顧客、依頼人、得意先などのこと。
- ⑥ プレゼンテーションソフトで、スライドに文字や図形を配置したり、編集したりする領域のこと。
- ⑦ 動作、アイコンタクト、表情などによる言葉以外の表現のこと。

〈B群〉

- ア. スライドペイン
- イ. プレビュー
- ウ. レビュー
- エ. リード
- オ. アニメーション効果
- カ. サウンド効果
- キ. 5W1H
- ク. ボディランゲージ
- ケ. ノートペイン
- コ. クライアント

5 次の各文の〔 〕の中から最も適切なものを選び、記号で答えなさい。

- ① 〔ア. 照会状 イ. 委任状 ウ. 推薦状〕とは、優れた人物や企業の長所を取り上げ、採用を促す文書のことである。
- ② 〔ア. 公告 イ. 詫び状 ウ. 申請書〕の例は、失踪宣告である。
- ③ 先方に、当方への質問・照会・要求などに対する返事を伝える文書のことを〔ア. 通知状 イ. 回答状 ウ. 督促状〕という。
- ④ 企画書の例として適切なのは、〔ア. 予算の決裁 イ. 新商品開発予定〕である。
- ⑤ 弔慰状は、〔ア. 帳票 イ. 社内文書 ウ. 社交文書〕に分類される。
- ⑥ 〔ア. 簡潔主義 イ. 短文主義 ウ. 一件一葉主義〕とは、特に必要のない限り、一文は60~80字程度を限度にして、なるべく短い文章を作成することである。
- ⑦ 末文挨拶の例として適切なのは、「〔ア. まずは、取り急ぎご報告申し上げます。イ. 平素より格別のご厚情を賜り、厚く御礼申し上げます。〕」である。
- ⑧ 下のように文頭の1文字を大きくし、強調する文字修飾のことを〔ア. ドロップキャップ イ. 組み文字 ウ. 透かし〕という。

今年の秋まつりでは、各地ご当地キャラクターによる「ゆるキャラコスプレコンテスト」を開催します。ゆるキャラに着せたい衣装を持ち寄り、今までにないコンテストを企画しておりますので、お楽しみに。

6 次の各文の下線部の読みを、ひらがなで答えなさい。

- ① 難しい役を任されるのは、役者冥利に尽きる。
- ② 突然の訃報に慟哭する。
- ③ 不思議な噂が流布している。
- ④ 新しい条約が批准された。
- ⑤ 双璧とは、すぐれていて優劣のつけがたい二つのものをいう。

7 次の各文の〔 〕の中から、四字熟語の一部として最も適切なものを選び、記号で答えなさい。

- ① 体験するまで〔ア. 半身 イ. 半神 ウ. 半信〕半疑だった。
- ② 難解なパズルを悪戦〔ア. 句読 イ. 苦闘〕の末解くことができた。
- ③ 今年の新入部員は〔ア. 十人 イ. 住人 ウ. 重任〕十色だ。
- ④ 食堂のアルバイトは、時給もよく食事もついて一挙〔ア. 兩得 イ. 良徳 ウ. 領得〕だ。
- ⑤ 〔ア. 大気 イ. 大器〕晩成型の偉人の伝記を読む。

8 次の各文の下線部の漢字が、正しい場合は○を、誤っている場合は〔 〕の中から最も適切なものを選び、記号で答えなさい。

- ① 先人の即席をたどる。〔ア. 足跡 イ. 速席〕
- ② 自然豊かな口外に家を建てる。〔ア. 郊外 イ. 公害 ウ. 構外〕
- ③ パスポートの友好期間が切れる。〔ア. 雄幸 イ. 遊行 ウ. 有効〕
- ④ 解禁手当のある会社で働く。〔ア. 開襟 イ. 皆勤〕
- ⑤ 生まれたパンダの愛称を募集する。〔ア. 相性 イ. 愛唱 ウ. 愛勝〕
- ⑥ 新旧の住所を併記する。〔ア. 兵器 イ. 平気〕
- ⑦ 茶の湯は桃山時代に流星を極めたといわれている。〔ア. 隆盛 イ. 竜聖〕
- ⑧ こたつでの低音やけどに注意しよう。〔ア. 定温 イ. 低温〕
- ⑨ お菓子作りに無縁バターを購入した。〔ア. 無煙 イ. 無援 ウ. 無塩〕
- ⑩ 事態が混乱して收拾がつかなくなる。〔ア. 修習 イ. 収集〕

公益財団法人 全国商業高等学校協会主催・文部科学省後援

第59回 ビジネス文書実務検定試験 (29. 11. 26)

第 1 級

ビジネス文書部門 実技問題

(制限時間20分)

試験委員の指示があるまで、下の事項を読みなさい。

〔 書 式 設 定 〕

- 余白は上下左右それぞれ25mmとすること。
- 指示のない文字のフォントは、明朝体の全角で入力し、サイズは12ポイントに統一すること。(12ポイントで書式設定ができない場合は11ポイントに統一すること。)ただし、プロポーションアルフォントは使用しないこと。
- 複数ページに渡る印刷にならないよう書式設定に注意すること。

〔 注 意 事 項 〕

- ヘッダーに左寄せで受験級、試験場校名、受験番号を入力すること。
- A4判縦長用紙1枚に体裁よく作成し、印刷すること。
- 訂正・挿入・削除・適語の選択などの操作は制限時間内に行うこと。

オブジェクトやファイルなどのデータは、
試験委員の指示に従い、挿入すること。

第59回 ビジネス文書実務検定試験 (29. 11. 26)

第1級 ビジネス文書部門実技問題 (制限時間20分)

【問題】 次のⅠ～Ⅳに従い、右のような文書を作成しなさい。

参考：農林水産省 野菜生産出荷統計 (平成27年産)

Ⅰ 標題の挿入

出題内容に合った標題のオブジェクトを、用意されたフォルダなどから選び、指示された位置に挿入しセンタリングすること。

Ⅱ 表作成

下の資料A・B並びに指示を参考に表を作成すること。

資料A

品 目	区分	特 徴
かぼちゃ	特定野菜	長期の保存が容易で栄養価が高い野菜
きゅうり	指定野菜	我が国の調味料と相性がよく家庭菜園でも人気だ
すいか	特定野菜	夏の風物詩の一つで熊本県や千葉県が大産地
トマト	指定野菜	サラダだけでなく加熱調理にも適した豊富な用途
ピーマン	指定野菜	唐辛子の一種でビタミンCの含有量が豊富
ブロッコリー	特定野菜	食用となるのは株の中央でつぼみが成長した部分
ほうれんそう	指定野菜	アジア原産の東洋種は灰汁が少なく和食に最適

資料B 単位 総収穫量・総出荷量：千t 作付面積：ha

品 目	総収穫量	総出荷量	作付面積
かぼちゃ	202	160	16,100
きゅうり	550	468	11,000
すいか	340	292	10,600
トマト	727	652	12,100
ピーマン	140	123	3,270
ブロッコリー	151	136	14,500
ほうれんそう	251	210	21,000

指示

- 「指定野菜」と「特定野菜」の二つに分けた表を作成すること。
- 表は、行頭・行末を越えずに作成し、行間は、2.0とすること。
- 罫線は右の表のように太実線と細実線とを区別すること。
- 表の枠内の文字は1行で入力し、上下のスペースが同じであること。
- 右の表のように項目名とデータが正しく並んでいること。
- 表内の「作付面積」と「総収穫量」の数字は、明朝体の半角で入力し、3桁ごとにコンマを付けること。
- ソート機能を使って、二つの表それぞれを「総収穫量」の多い順に並べ替えること。
- 「指定野菜」の表の「ほうれんそう」の行全体に網掛けすること。

Ⅲ テキスト・イラストの挿入

- 挿入する文章は、用意されたフォルダなどにあるテキストファイルから取得し、校正および編集すること。
- 出題内容に合ったイラストのオブジェクトを、用意されたフォルダなどから選び、指示された位置に挿入すること。

Ⅳ その他

- 問題文にある校正記号に従うこと。
- ①～⑫の処理を行うこと。
- 右の問題文にない空白行を入れないこと。
- 右の問題文の a に当てはまる語句を以下から選択し入力すること。

トマト すいか ほうれんそう

オブジェクト(標題)の挿入・センタリング

南北に長い日本列島では、地域により気候や風土が異なるため、各地で様々な野菜が作られています。そこで、当店で販売量の多い野菜について収穫量などを調べました。

<指定野菜>

① 網掛けする。

品目	特徴	作付面積	総収穫量

③ 枠内で均等割付けする。

② 各項目名は、枠の中で左右にかたよらないようにする。

④ 左寄せする(均等割付けしない)。

⑤ 右寄せする。

<特定野菜>

品目	特徴	作付面積	総収穫量

③ と同じ。

② と同じ。

④ と同じ。

⑤ と同じ。

単位 作付面積：ha 総収穫量：千t ⑥ 右寄せする。

指定野菜とは全国で流通し、消費量が多い重要な野菜のことです。農林水産省は、表内のほかにキャベツやだいこんなど合計14品目を定めています。また、これに順^準じる重要な野菜として35品目を特定野菜に指定しています。

テキストファイルの挿入範囲

特定野菜の表内で総収穫量が最も多い a は、統計上では果実的野菜に分類されています。収穫までの期間が、苗を植えてから1年という点で野菜一般と同じためです。いちごとメロンも、同じ分類とされます。

⑧ 枠を挿入し、枠線は細実線とする。

⑨ 枠内のフォントの種類はゴシック体、サイズは12ポイントとし、横書きとする。

オブジェクト
(イラスト)の挿入位置

⑩ 二重下線を引く。

資料作成：^{ゆりもと} 塚本 かおり

⑪ 矢印の先端がイラスト内の「果実的野菜」の枠内を指すように、枠線から図形描画機能で矢印を挿入する。

⑫ 明朝体のひらがなでルビをふり、右寄せする。

⑦ 取得した文章のフォントの種類は明朝体、サイズは12ポイントとし、2段で均等に段組みをし、境界線を細実線で引く。